

人むすびの場

第30回テーマ
“プロダクトデザイン”
～職人が新しいビジネスを生む～

日時	平成22年12月16日(木) 午後7時～9時
会場	スペースU
企画運営	“人むすびの場”づくり企画運営チーム

人むすびの場”をともに創りませんか？

- 「むすひ(産霊)」とは、ものを生み出す力のことを表す古語です。場には、不思議な力が宿ります。何かが生まれ行くエネルギーに満ちています。
- 「人むすびの場」は、ご参加の皆さん全員が「場づくり人」として、思いと知恵を分かちあう「対話と創発の場」です。
- 他者との対話を通じて見えてくる自分自身の思いへの気づき、次なるステップへのヒント、自然と生まれるつながりの発展の機会としていただけたらと思っています。
- 私たちの世界は、「人と自然」「人と人」のつながりが薄くなり、様々な問題を抱えています。でも、世の中には人財、知恵もそこかしこにあり、結び合うことで問題解決のパワーも生まれてくるに違いありません。
- 今の自分の一歩が、世の中がよくなることにつながる。そんな互いの思いを分かち合うことから、「和・環」となって、何かが変わることを信じている人々の集まりにしたいと思います。
- 「人むすびの場づくり企画運営チーム」へも是非ご参画ください。
- 新しいアイデア・企画の提供など、もろもろご意見をお待ちします。



プログラム

- 19:00 ◆オリエンテーション 人むすびの場とは
“人むすびの場”づくり企画運営チーム 高重 和枝
- 19:05 ◆スピーチ
「プロダクトデザイン、職人が新しいビジネスを生む
～ハンドサイクル自転車を事例に～」
宇賀神 一弘さん(うがじん かずひろさん)
(宇賀神溶接工業所 代表)
柴田 映司さん(しばた えいじさん)
(テコデザイン 代表)
- 19:50 ◆人むすびカフェ
ファシリテーター 角田知行さん
- 20:55 ◆本日のまとめ
- 21:00 終了
交流会(ピアンタ)



「プロダクトデザイン、職人が新しいビジネスを生む」

～ハンドサイクル自転車を事例に～

ゲスト 宇賀神 一弘さん(うがじん かずひろさん)
(宇賀神溶接工業所 代表)

柴田 映司さん(しばた えいじさん)
(テコデザイン 代表)

- 柴田さんはプロダクトデザインに携わる「デザイナー」で、家具やムービー、家具の展示などを行っています。宇賀神さんは、半導体・食品加工の溶接に携わる「職人」で、帯広にある美術村でステンレスをつかったオリジナル商品の屋外展示物にも関わっています。
- 一般に、デザイナーと職人は一緒にならない、といいますが、熱い思いを抱く二人はイキも合って、2010年秋には一緒になって17名の建築家、インテリアデザイナーなどの仲間とゼロから1年がかりで立ち上げた「デザインHEART」イベントを開催し、好評を博しました。
- 来場者の中の子どもの意見が大人の意見と違うこと、日ごろ、触れ合わない人と触れ合うことで自分たちの幅ができる、と気づいたそうです。
- ハンドサイクルの誕生には、「気軽に乗れるハンドサイクルを作りたい」という、足の障害で自転車に乗れなくなった自転車ジャーナリスト町田敦志さんの強い思いがありました。
- プランニングをした町田さん、難しい問題に取り組むほど燃える「職人魂」をもつ宇賀神さんと難しいデザインだけどやらせて欲しいというデザイナーの柴田さんが三位一体のチームを組んで実現させ、「手でこぐ自転車」をトリニティドライブというブランド名で商品化。
- ヨーロッパにはすでにあるハンドサイクルですが、日本では初めての開発。たくさんの人に買って欲しい! スタイリッシュな形で、障害の状況は一人ひとり違うというニーズを満たせるよう、構想3年の町田さんの思いを1年という短い期間の試行錯誤で、柴田さんと宇賀神さんが実現しました。
- 製作に携わったお二人は、初めて試乗したとき、町田さんが本当に喜んでくれたことが嬉しかった。失敗は失敗ではなくて発見、進化にはゴールはない。人間は欲望を持っていいんだな、と思った。それを発信すれば、それができる人間がつくる、という勇気ももらえた。
- 2011年1月26日、27日に日本最大級の企業間展示商談会の「彩の国ビジネスアリーナ2011」に大手メーカーと混じって、出展します。商品を量産できるようになると価格を引き下げていけます。情熱を傾け、ビジネス展開していくと目を輝かせていました。



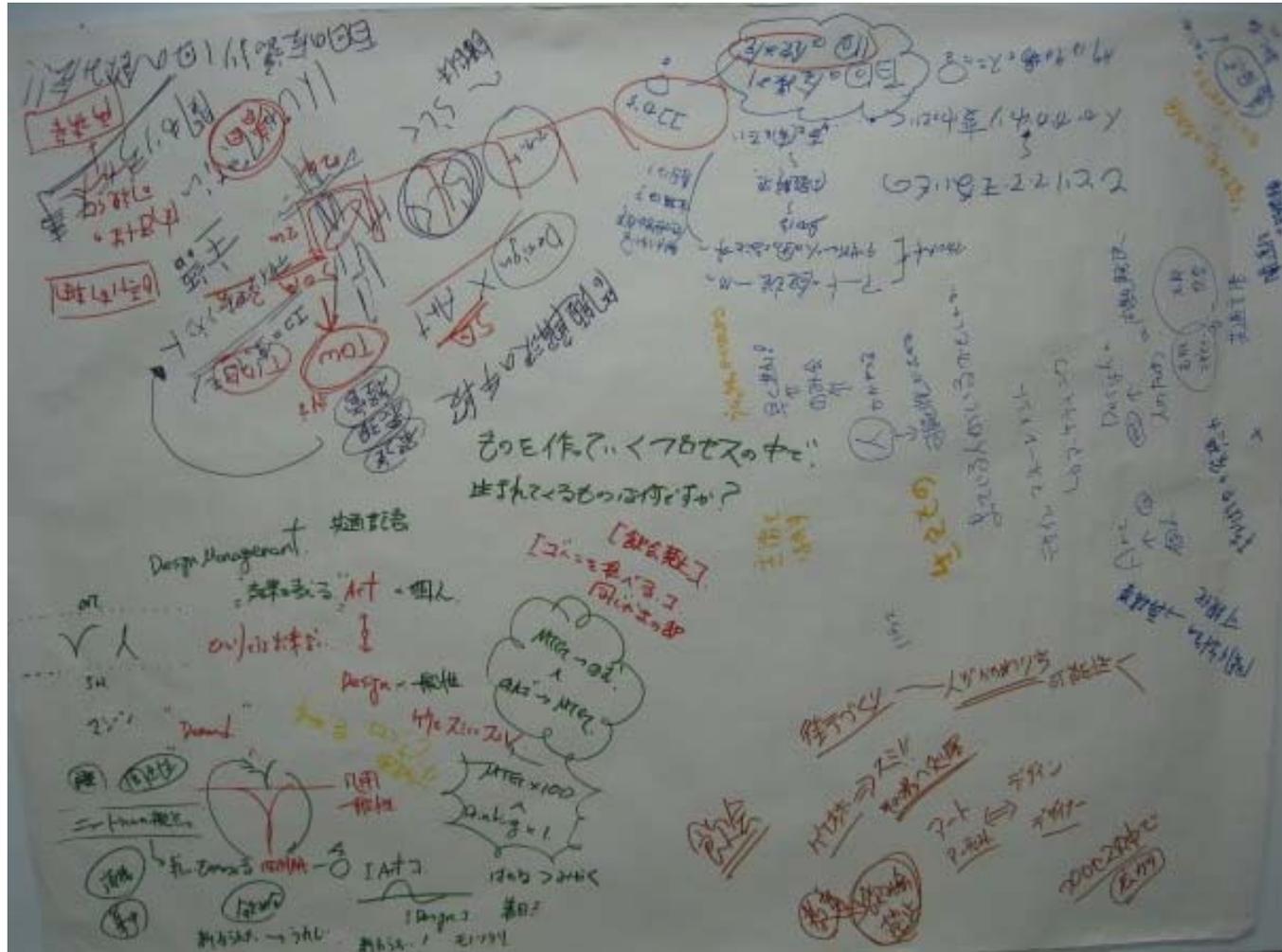
ハンドサイクルの映像

人むすびカフェ



人むすびカフェ

「ものを作っていく、そのプロセスの中で生まれてくるものは何ですか？」



本日の感想①

* 今日、どんな気づきがありましたか？

- ・やはり熱い思いからスタート！！
- ・多様な人の着眼点の違いをつなぐ。
- ・関係性の可視化 ⇒再構築
- ・ものを作っていくプロセスで、多数の人がかかわり、いろいろな視点が加わり、新たなものが生まれていく。専門家じゃないから生まれてくる発見や発想がある。
- ・「ものづくり」のプロセスには一つの方程式だけでなく、様々なアプローチがあっても良いと再認識できました。
- ・ハンドサイクルに初めて出会いました。モノ作りの原点 職人魂 デザイナー魂 感動しました。
- ・ものづくりのだいご味にふれることができた。
- ・答えがない話に個々応えることが非常に大切だと思いました。
- ・制限は人間がつくる。でも、それをとっばらうのも人間
- ・もの作りの「もの」とは何？形？人？考え？
全ての事が入って「もの」なのかな。
- ・思いを表現していくこと。心を形にしていくことだな！
- ・思想と現実のタイムラグ

本日の感想②

* 一番、印象に残ったこと(キーワード)はどんなことでしたか？

- ・プロセス⇒生きもの
- ・進化しつづける
- ・百回の会議より一回の飲み会を先にやれ！
- ・参加者の皆様が積極的に話し合えるこの雰囲気はものすごい楽しかったです。
- ・熱い思い
- ・デザインとアート その違い それをつなぐこと
- ・「モノづくり＝ヒトづくり」だということ
- ・ものづくり＝人づくり
- ・人「財」 人材ではない
- ・物(もの)づくりは事(こと)づくり 人がつくる。
- ・飲んで次の日会議！！

本日の感想③

* その他、よかったこと、残念だったこと、質問など、ご自由に。

- ・楽しかったです。ありがとうございました。
- ・ゲストお二人の話で勇気をもらった。
- ・ゆったりとした時間が楽しかった。
- ・いろいろなお話を聞いて良かったです。勉強になりました。
- ・本日は、初めての参加でしたが、単なるグループ討議ではない「ワールドカフェ」の楽しさを知ることが出来ました。
- ・大変刺激を受けました。どうもありがとうございました。
- ・お題が少しむずかしいと思ったが、だからこそ、いろいろな話が出きたのかもかもしれません。
- ・初めて参加してみましたが、非常に刺激的でした。
- ・また新しい出会いができて楽しかったです。
- ・一つのテーマに色々な話が出る事。決して結論ではない。
- ・そうか。ものづくりができないような教育の方向にどんどん向かっていることに気づかされた。
- ・軸を持つこと

皆さん、ご一緒に場をつくってくださってありがとうございました。